



日本

の源流再発見

File 22

北海道函館市

五稜郭タワーからの眺望

幕末から明治期の歴史遺構が残る町



次世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれた「北海道遺産」。2018年7月現在、52遺産が選定されるなか、函館市からは「函館山と砲台跡」「函館西部地区の街並み」「路面電車」「五稜郭と箱館戦争の遺構」「内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群」が選出されています。

明治を感じる北海道の玄関口

2016年3月に新函館北斗駅まで新幹線が延伸。北海道の玄関口として新たに注目を集めている函館市は、歴史を感じる町並みやそこを通り抜ける路面電車、港を見下ろせる坂道など見どころが多く、今も昔も多くの人々を惹きつけてきました。

なかでも「北海道遺産」に選定されている函館西部地区には、函館ハリストス正教会やカトリック元町教会などの教会群や明治から昭和初期の上下和洋折衷の町屋、ウォーターフロントの赤レンガ倉庫群など、歴史遺構が数多く残っています。その一つ旧函館区公

会堂は、1910年竣工の築100年を超える美しい洋館で、国の重要文化財にも指定されています。1980年度から3年をかけた保存修理工事を経て当時の姿を取り戻し、現在は観覧施設として利用されています。内部は見学に加えて、豪華なドレスや燕尾服のレンタルサービスもあり、クラシックな装いで美しい洋館をバックに写真撮影も可能です。なお、2018年10月から2年半の予定で保存修理工事に入るため、しばらくは休館になります。

また西部地区には坂が多く、名前のかつものだけで19もあります。坂の上か



月光仮面像

らは港の風景や海沿いを走る路面電車などが一望でき、なかでも八幡坂からの眺めがすばらしく、観光客の人気のスポットとなっています。

坂を下ってウォーターフロントに向かうと、赤レンガ倉庫が並んでいます。現在ショッピングモールとして多くの人にぎわう金森赤レンガ倉庫は、明治初



▲ 函館山からの夜景

ロープウェイなら約3分で山頂に到着する函館山は海拔334m。夜景は人気が高く、日没後2時間程度はかなり混み合うことも。もちろん、日中も函館の市街地や港を一望できる絶景を楽しめます



▲ 金森赤レンガ倉庫

1907年の大火で焼失した後に再建されました。現在ショッピングモールやレストランを備えた商業施設となっています



▲ 旧函館区公会堂

青い壁に黄色い窓枠のコントラストが美しい明治後期の洋風建築。シャンデリアや柱頭飾りなど細部も非常に手が込んでいます。市街地や港を望む2階バルコニーからの眺めもお勧めです



▲ 路面電車

函館の市電は、明治期に亀函(きかん)馬車鉄道として始まり、1913年に路面電車になりました。現在も市民や観光客に親しまれています

期に初代・渡邊熊四郎が始めた洋品店に端を発します。その後、倉庫業の必要性を感じ1887年金森倉庫を創業。1907年に大火に見舞われましたが、まもなく再建された倉庫が現在まで残っています。

また函館といえば、函館山からの夜景と五稜郭が有名。とりわけ、近年は訪日外国人の急増や新幹線の延伸、城ブームなどもあり、五稜郭を訪れる人が年々増加しています。五稜郭タワーからは、星型の堀や郭内に復元された箱館奉行所などを一望できます。日本のお城とはまったく違う五稜郭の

形状には驚くばかり。タワー内部には、箱館戦争の歴史を学べる展示や土方歳三のブロンズ座像など展示も盛りだくさんです。

知る人ぞ知るスポットは函館駅近くの広場に立つ月光仮面像。函館出身の原作者 川内康範^{こうはん}によって寄贈されました。

ココに注目

1879年創業の五島軒本店 レストラン雪河亭の「明治の洋食&カレーセット」は、変わらぬ老舗の味が楽しめる逸品です。



日立グループ事業所紹介

今回訪れた北海道には株式会社 日立製作所 北海道支社があります。地域のお客さまの豊かな生活とより良い社会の実現に貢献していくことを目標に、電力・電機、昇降機、情報など多岐にわたる製品・システムを提案しています。

株式会社 日立製作所 北海道支社 札幌市中央区北二条西4丁目1番地 札幌三井JPビルディング
<http://www.hitachi.co.jp/area/hokkaido/group/branch/>